

第 9 回 県有施設・県出資団体等調査特別委員会資料

法人に対する新たな出資について
～笠間栗ファクトリー株式会社の取組状況報告～

(農林水産部)

令和 6 年 6 月 19 日 (水)

○団体名 笠間栗ファクトリー株式会社

1 報告の趣旨

- 調査特別委員会(第7回)において、笠間栗ファクトリー(株)への新たな出資に係る審議をいただいた以降、県が出資を行うなどの新たな動きがあったことから、現在の取組状況及び今後の予定について報告するもの。

2 取組状況

- 令和6年4月25日付けで笠間栗ファクトリー(株)から県あてに、増資株式3,500株の引受申込みに関する通知があり、5月31日に出資金の払い込みを行った。
 - ・ 出資額 35,000千円(3,500株、1株あたり1万円)
 - ・ 出資後の資本金 110,000千円
(茨城県35,000千円(32%)、笠間市35,000千円(32%)、JR東日本30,000千円(27%)、JA常陸10,000千円(9%))
- 県では、今回の出資により、県の重点5品目の一つである「茨城の栗」のブランド力強化に向け、笠間栗ファクトリー(株)の経営に直接参画し、原料生産から加工・販売までを地域内で行う「栗の構造改革」の取組を強化していく。
- 笠間栗ファクトリー(株)では、県が有する加工技術のノウハウや販売力を全面的に活用することで、課題を解決し、同社の取組を加速させていきたい考え。

3 今後の予定

- 県が経営に参画することにより、経営上の課題を分析し、笠間市等の出資者とともに、課題解決に向けて具体的な対策を講じていく。

(参考) 笠間栗ファクトリー(株)の概要

代表者	代表取締役社長 山口伸樹(笠間市長)
設立目的	笠間市を代表する特産物「笠間の栗」のブランド化と新たな地域価値の創出を目的に、「栗生産者の所得向上」「笠間の栗の販路拡大」「笠間の栗のブランド価値向上」「笠間の栗をきっかけとした観光コンテンツづくり」に取り組む。また、地域との共創関係のもと、地域の新たな魅力づくりと魅力の発信、地域産業の発展や交流人口の創出を目指す。
主な事業	「笠間の栗」を使用した加工品の製造、販売等 (R4年度実績 54百万円)
役職員数	役員数 6人(常勤1人、非常勤5人)、職員数 5人 ※このほか工場稼働時は25名を雇用。